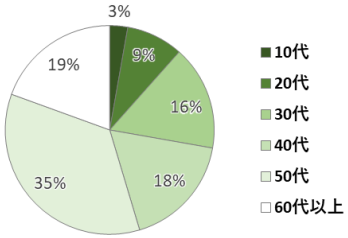
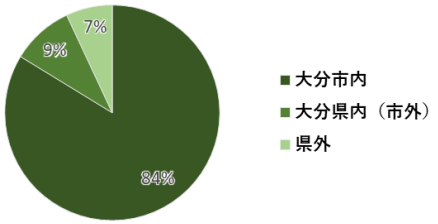
「22・54（ニーニーゴーヨン）」 市民シンポジウム　R8.8.2（日）開催（参加者:150名、当日回答者:137名）　最終回答(9/25時点):217名

アンケート調査　「22街区・54街区での過ごし方等」について、市民シンポジウム来場者等を対象に、アンケート調査を実施しました。

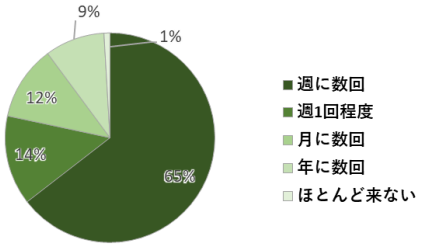
回答者の年代



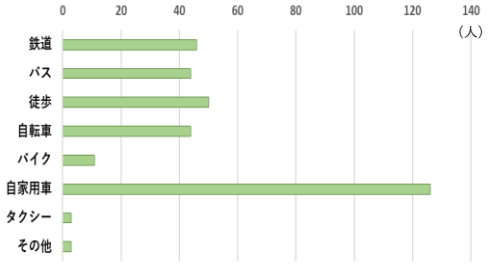
回答者のお住まい



市中心部を訪れる頻度

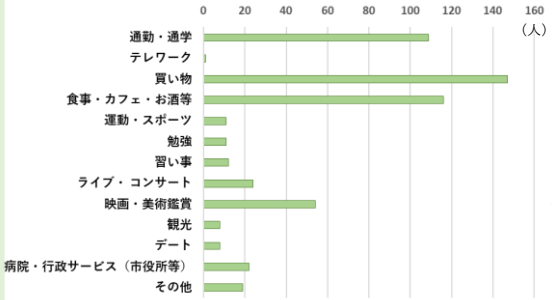


市中心部を訪れる際の交通手段(複数選択)



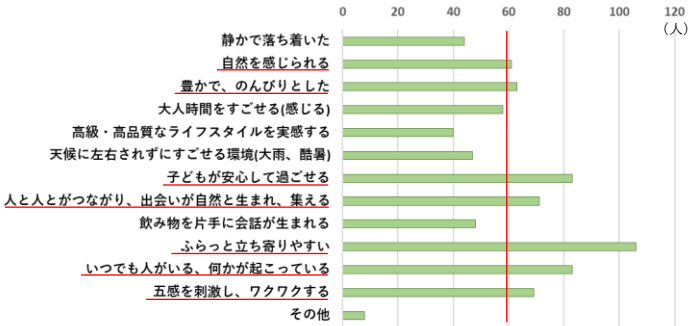
（その他の内容）　ホーバークラフト、飛行機

市中心部を訪れる目的(複数選択)



（その他の内容 ）　居住、仕事、図書館、講演会、散歩、帰省、送迎

2254が「どんな雰囲気」になることを望みますか(複数選択)



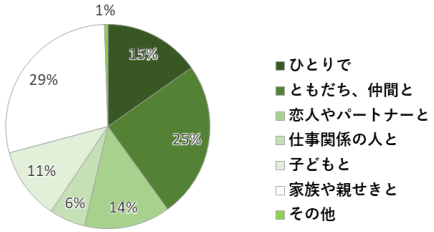
（その他の内容）
- この地のオフィスビルで働きたいと思える高級オフィスと高級ホテルが併設された、きれいな街を活かした雰囲気
- 若者が集い賑やかな雰囲気
- 住居中心になって欲しくない。若者が集まる街に。
- ビジネス・観光・文化・スポーツとの融合で人を集めたい。
- 回遊できる発信地となって欲しい。
- ジョギングなど運動できる構造(皇居ランのように)
- 大分駅と一体となった、家族や友人と楽しめる回遊性ある感じ。
- 市外、県外から人が集まる施設
- 屋外スポーツ施設兼イベント会場
- ペットとゆっくりできる

2254で「何をして過ごしたい」ですか(複数選択)

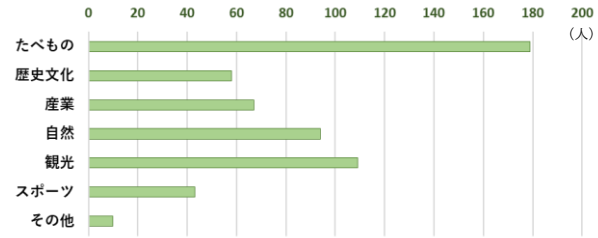


（その他の内容）
- オフィスとして通いたい
- 陶器市みたいな県外のものに触れる機会となるイベント会場
- 温泉
- 友達や恋人とお買い物を楽しむ

2254には主にどなたと訪れたいですか(複数選択)



あなたが 「おおいたらしさを感じるもの」 はなんですか（複数選択）



（その他の内容）
- 地場企業（銀行や商業施設など）
- 温泉、温泉県
- 他県の企業人たちが大分の魅力をより感じている。地元よりも外部からの赴任者の声を聴いてはどうでしょうか。
- 静かでほど良い便利さ、中心部がコンパクトに集積している
- 中途半端に、しかしほとんどすべてがあって特徴がないのは利点
- 特段優れたところはないが、衣食住が不便ないところ。
- カルチャー、音楽、アートなど
- 人工的に加えられてない自然、城下町